

O-36 当院における人工呼吸器管理チームの活動 －新人看護師人工呼吸器管理研修について－

富山市立富山市民病院

鍛冶 裕子、赤田 文代、古川 美和子、宮川 由香

【はじめに】

平成 13 年、院内リスクマネジメント委員会で、人工呼吸器の安全管理を目的とした「プロジェクト R」というチームが発足された。メンバーは医師・臨床工学技士・看護師であり、私たちは当院独自で認定されている呼吸器看護エキスパートナースとして参加している。現在プロジェクト R では、人工呼吸器管理の標準化・スタッフ教育・病棟ラウンドなどの活動を行っている。今回はスタッフ教育として、平成 17 年度より行っている、新人看護師（新人・卒後 2 年目）を対象とした人工呼吸器管理研修について紹介する。

I. 内容

目標：人工呼吸器の準備から装着、管理までを理解する。

対象と研修時期：新人看護師 6 月

卒後 2 年目看護師 10 月

指導項目：①呼吸生理の基礎

②人工呼吸器の原理

③人工呼吸器の実際

④人工呼吸器中央管理の貸出方法

⑤人工呼吸器の使用方法

⑥回路の組み立て方法

⑦アラームの発生と対処方法

⑧人工呼吸器チェックリストについて

⑨聴診・吸引・体位変換について

⑩気管チューブの固定と移動について

⑪オーラルケアについて

方法：講義 90 分 集団学習 指導項目・・・

実技 120 分 4～5 人の小グループでの体験学習

臨床工学技士 指導項目④・⑤・⑥・⑦

エキスパートナース 指導項目⑧・⑨・⑩・⑪

新人看護師 指導項目

①・②・③・④・⑤・⑥・⑧・⑨

卒後 2 年目看護師 指導項目

①・②・③・⑤・⑥・⑦・⑩・⑪

II. 結果

研修後のアンケートの感想より、「今まで人工呼吸器に触れたことがなかったのでよい経験になった」「病棟で経験したことがあったが研修で再確認できてよかった」という意見が多く、「今後も自己学習していきたい」「積極的に関わっていきたい」と意欲的な意見を述べている。方法については、「講義だけでなく実際に目で見て手で触れて体験することは分かりやすかった」「小人数でのグループ学習は大変分かりやすく質問もしやすかった」という意見が多かった。

当初、新人看護師人工呼吸器研修は院内の現任教育で行っていた。短時間の講義形式であり、研修生にとっては受身的な内容であった。スケジュールに余裕をもたせ、対象を新人 1 年目と 2 年目の 2 回研修を行うことで反復学習する機会とし、経験にあわせ指導項目もステップアップするようにした。講義だけでなく実技中心に具体的な指導を行うこと、4～5 人の小グループで研修生の反応をみながら理解の程度を確認しすすめることでより効果的な学習となった。

III. まとめ

1. 新人看護師人工呼吸器管理研修の方法は、体験学習をとり入れた小グループ学習が効果的である。

2. 経験にあわせた指導項目を選択し反復学習することで学習意欲につながり、安全管理意識が向上した。

【おわりに】

新人看護師研修はまだ開始して 2 年しかたっておらず、研修効果の評価までは至っていない。しかし、新人を通して確実に人工呼吸器の安全管理意識の向上につながっている。今後も現在の活動を継続し、より効果的な研修となるよう検討していきたい。

参考文献 1) 妙中信之：呼吸ケアスタッフ指導・育成ポイント 155, 呼吸器ケア, 2007 年夏季増刊, 2007.